令和6年度事務事業評価シート

1	基礎情	報																		
	事業名 (子事業名)				道路施言	 设維持	管理事:	* 業費				Ē	所属部等	都可	サインフラ整備部 ・	事業番号		249		
	予算区分				糸	圣常経費	費事業					Ē	所属課等		道路維持課		1			
	予算科目	会	計 01	款	40 項 05 目	05	親事業	250	子事	事業	05	P.	所属係等		施設維持係					
	### (1	Diam)		#																
2	計画(Pian)	基本政	<i>(//)</i>	//////////////////////////////////////	9////							<u> </u>	1 生区	· 分	会和6年	() () () ()	関類の内部		
*	総合計画体系	. <i>///</i>	基本施力		///////////////////////////////////////	/////														
,			単位施																	
		///	//////	////	///////////////////////////////////////	/////	(開始年)	<u>///////</u> 度	/////	<u>/////</u> 年度	<u>/////</u>									
	事業の期間					***			年		~,									
			7711-112	~ ix.	~ 1 ~ `				<u>'</u>	<i>'</i>										
																 				
			1) % #+) =	e He ulu		ch ##r /++:	: T ~ W/+* HA	7 Ht o ** r	<u> -</u>		.1 141111									
	事業概要		受の保守	「点検	等の維持管理を	年間を	『偏及り国路側の男足や赤草、よた道路』 『を通して実施する。													
																合計		619, 657		
目	対象	Lo	V- === 11 -==				音図	7			V- ====================================	事業区分								
的	(誰を・何を	を)	首路施設	ζ			(どうした	こいか)	市	i内のi	直路施設	どの維	持管理を適	切に行	〒うことにより、1	市民の生活環境	の向上を	・図る。		
	手段	送出	々の連目	L.Sh	吟苔 街吹掛の	前中	囲引き	は挟き	た 行 ふ											
	(どうやって)	10世	谷マノ目が	1-/-,	休早、 1日間の	男足、	间がさ、	他省んで	₹11) a	0										
_	15 1-				実施 (Do) へ															
3	現状把												会和 4 年度		今和5年度	会和6年度	:	会和7年度		
(1)事業費	・指標	!の推利	多							単位					·				
							Ξ	国庫支出:	金		千円									
											È									
		=	事業費		財源内訳						千円			-0 10 004	47, 470					
																-				
	年間								京					•						
	トータル コスト			ı		事業									•	•				
																				
		,	人件費		正規職員							 								
						1.00			(年)									•		
					()												
					(A) 1										<u> </u>	032, 6	40	172, 626		
対象	党数の推移		方向	\rightarrow		補修	多要望件数	数			件		3, 27	9	3, 411					
	が そのか	. \	方向	\rightarrow		処理	!率			目標	%	ļ		95	95					
(糸	怪常・その他	1)	,,,,,	,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,	- ·	,,,,,,,		実績	,,,,,,	,,,,	·///////	97	93	<i></i>				
	は は は は は は は は は は は は は は は は は は は													///						
	8合計画)									變			<u> </u>		<u>/////////////////////////////////////</u>		////////	44411111		
(:						11														
) からと					治会、市	民等から	う除草や	や街路	樹の剪り	定、f	戈採、側溝 <i>の</i>)清掃	等を要望されてい	る。				
2						内	草回数を	年間2回	回から;	3回へ	増やし	た。								
3	・事業の対 (複数回答		の周知方	法は	?] 広報あ [.]] その他		☑市	īホー <i>』</i>	ムページ	-ジ □ 公民館だより □ ポスター・チラシ □ SNS)								
	- 仏主の母																			

評価	(Check)	^

4	評価(Check)					
Г	① 社会的な要請・社会的背景や事業環境の変化を踏まえ、現在の社		必要性は薄れている(A)	妥当	理由	
L	会・経済問題として対応する必要があるか? ② 対象者のニーズ	_	必要性がある(B) 臓少する見込み(A)			
	・対象者のニーズや利用者の需要・要望は増えているか?	_	横ばい・増加する見込み(B)	妥当	理由	
要性	③ 行政関与の必要性	0	可能である(A)	50 W	理	
	・この事業は、行政が実施する必要があるか?民間 やNPOなどでも実施可能か?	•	可能ではない(B)	妥当	由	
L	④ 廃止した場合の影響	0	影響がない(A)	妥当	内	
L	この事業を廃止した場合、どのような影響があるのか?	•	影響がある(B)		容	
L	⑤ 指標の達成度・EBPM※1の考え方 ・指標の目標値は達成できたか?達成できなかった		未達成(A) 達成(B)		理由	
L	場合、その理由は何か? ・指標や目標値の設定根拠は?		E及(D) R5活動指標 %	妥当	指標	
L	(エビデンスに基づく合理的な根拠)		R5成果指標		の根拠	
有効	⑥ 目的への貢献(具体的な成果)	0	貢献できなかった(A)		理	
	・この事業は、意図した目的に貢献できたか。貢献できなかった場合、その理由は何か?・具体的な成果の内容は?		貢献できた(B)	妥当	由	
L	大学 はいない 大学 はいまい かいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい				成果	
L	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性・同じ目的を持つ類似の事業があり、統廃合・連携	0 0	可能性がある(A)	妥当	理由	
L	はできるか?		可能性がない (B)			
	⑧ 費用対効果の向上・随意契約から入札への変更、デジタル化・DX、外部委託、指定管理者制度、PFS/SIB※2等により、事		余地がある (A) 余地がない (B)	妥当	理由	コスト削減の余地はないと考えている。
効率	業費の削減・費用対効果の向上は可能か?				H	
性	⑨ 業務効率化(業務時間・業務量の改善)	0	余地がある(A)		I II	
	・作業の見直しや業務改善、デジタル化・DX、外部 委託、指定管理者制度等により、業務の効率化は可能か?	•	余地がない(B)	妥当	由	業務量削減の余地はないと考えている。
	⑩ 受益者負担の適正化	0	なっていない(A)	亚业	理	古地山 1/27の瓜光楽が1、2 古楽づけか1、
公平	・受益者負担は公平・公正になっているか?	•	なっている・受益者負担には該当 しない(B)	妥当	由	直接サービスの受益者がいる事業ではない。
	① 制度の周知	0	できていない(A)	亚亚	理	田知の立西がわいと考っている
	・対象者が公平にサービスを受けられるよう、制度 を十分に周知できているか?	•	できている・周知の必要がない (B)	妥当	由	周知の必要がないと考えている。

※1 EBPM (Evidence-based Policy Making) …政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化した上で合理的根拠 (エビデンス) に基づくものとすること ※2 PFS (Pay For Success) …行政課題の解決に対応した成果指標を設定し、指標値の改善状況に連動して委託費等を支払う契約方式 SIB (Social Impact Bond) …事業に係る 資金調達を金融機関等の資金提供者から行い 、その 返済等を成果に連動した地方公共団体からの支払額等に応じて行うもの 改善 (Action) へ 4 評価 (Check) で (A) を選択した場合は、「(2)担当課による今後の取組」欄に反映してください。

改善 (Action)

(1) 事業継続の評価及び見直しの区分 事業の適合率 評価の判定基準 >>> 所管課長評価 手法の適正率 見直し判定 見直し区分(複数選択可) 80%以 F 拡大or継続 コスト見直し □ PFS・SIB導入 次評 妥当 効率性 妥当 必要性 直し区 現行ど 70%以上80%未満 ⇒ 作業工程等見直し 山 事業の統廃合・連携 継続 100 100 価 おり 60%以上70%未満 ⇒ 継続or縮小 デジタル化・DX □ 負担や周知の見直し 有効性 妥当 公平性 妥当 分 60%未満 縮小or廃止 委託・指定管理 その他 (2) 担当課による今後の取組 事業推進上の課題 具体的な改善案 備考 今後の取組 予算の確保

総評 (Follow) へ

	6 総評(Follow)		
	所管部長評	価	具体的な指示事項
2	2 マ 一次評価結果を踏まえた横 平 断的な視点での評価 面	継続	適切な時期に除草や剪定等を行い、道路環境の保全に努めること。

				令和6年	度 事務	事業語	評価シート				
	1 基礎情報	報									
ſ	事業名 (子事業名)		道路	維持補修事業費			所属部等	都市インフラ整備部	事業番号	250	
ľ	予算区分		i	经常経費事業			所属課等	道路維持課			
ľ	予算科目	会計 01 款	40 項 10 目	15 親事業 250	子事業	05	所属係等	道路維持係			
	2 計画 (F	Plan)									
Γ		//基本政策//	//////////////////////////////////////	\$/////////				事業区分	令和6年度予算現額の内訳		
ı	総合計画体系	基本施策	自動表				○ 国の制度に	よる義務的事業	項目(節)	金額(千円)	
ı		単位施策	//////////////////////////////////////				○ 県の制度に	よる義務的事業	旅費	190	
ľ	本業の知明	○ 単年度のみ	● 単年度紀	操返 (開始年度	年	度)	○市の制度に	よる義務的事業	需用費	14, 446	
ı	事業の期間	○ 期間限定複	数年度(~	年度)		◉ 施設等維持	管理事業	役務費	1, 381	
ľ							() 補助金等交	付事業	委託費	21, 200	
ı							○ 協議会等の	負担金	使用料・賃借料	10, 326	
ı		*************************************	ルや主見からの	亜角ないか、イが日 1	などの担信な	女言に然 の	○ その他の事	業	工事請負費	492, 000	
ı	事業概要		、良好な市道の	要望等において発見し 保全を図り、円滑な道			₹i	艮拠法令等	原材料費	14, 750	
ı		生品を確保する	争来じめる。						備品購入費	1, 355	
ı									その他	785	
									合計	556, 433	
	目 対象 的 (誰を・何を 手段 (どうやって)		その打換えや損傷	意図 (どうしたいか) こした道路施設の補修を	全な市		や快適性を維持し 確保する。	、良好な市道の保全を	図ることにより、円	滑な道路交通と安	
L	•	現状把握・	実施(Do)へ								
	3 現状把抽	屋・実施(Do)									
	(1)事業費	・指標の推移				単位	令和4年度 (決算実績)	令和5年度 (決算見込)	令和6年度 (予算現額)	令和7年度 (予算見込)	
ı				国庫支出	金	千円	38, 82	18, 370	11, 109	39,000	
ı				県支出会	金	千円		0 0	0	0	
ı		声	財源内訳	地方債	İ	千円	486, 00	232, 500	228, 600	496, 000	
的 (誰を・何を) **** 老朽化	争未复		その他	ļ	千円	26	i 189	100	280		
ı	トータル			一般財湯	原	千円	500, 77	77 747, 769	316, 624	512,000	
				事業費計(A)		千円	1, 025, 87	70 998, 828	556, 433	1, 047, 280	
	171			業務に必要な	エ人工	人	0.	5 0.5	0.5	0.5	
		人件費	正規職員	延べ業務時間	(年)	時間	1, 44	1, 440	1, 440	1, 440	
		八八只		平均人件費	(年)	千円	8, 44	8, 646	8, 646	8, 646	
				人件費計(B)		千円	4, 22		4, 323	4, 323	
			(^)	(D)		- m	1 020 00	1 000 151	ECO 7EC	1 051 602	

(A) + (B) 1, 030, 093 | 1, 003, 151 560, 756 1, 051, 603 対象数の推移 方向 補修要望件数 件 3, 279 3, 411 目標 95 95 活動指標 (経常・その他) 方向 処理率 実績 97 93 成果指標 (総合計画)

(2) この事務事業の背景・市民意見等

	・関係者(市民、地域、協働の担い手、民間事業 者、議会等)からどのような意見や要望が寄せら れているか?	自治会、市民等から舗装補修や側溝等の道路付属物の補修を要望されている。
2	・直近3か年以内に実施した改善や見直し等の内容は?(監査等からの指摘事項を含む。)	特になし。
3	・事業の対象者への周知方法は? (複数回答可)	□ 広報あつぎ □ 市ホームページ □ 公民館だより □ ポスター・チラシ □ SNS □ その他 (工事実施通知文等の配布
4	・他市の状況は?(県内や類似団体との比較)	他市町村等についても同様な事業を行っている。

評価	(Chec
計Ⅲ	COLLEC

4	評価(Check)					
	① 社会的な要請	0	必要性は薄れている(A)	妥当	理	
L	・社会的背景や事業環境の変化を踏まえ、現在の社会・経済問題として対応する必要があるか?	•	必要性がある(B)	<u> </u>	由	
L	② 対象者のニーズ	0	減少する見込み(A)	亞业	理	
必要			横ばい・増加する見込み(B)	妥当		
性	③ 行政関与の必要性	0	可能である(A)	妥当	理	
L	・この事業は、行政が実施する必要があるか?民間 やNPOなどでも実施可能か?	•	可能ではない(B)	女ヨ	由	
L	④ 廃止した場合の影響	0	影響がない(A)	TO 1/	内	
	・この事業を廃止した場合、どのような影響がある のか?	•	影響がある(B)	妥当		
	⑤ 指標の達成度・EBPM※の考え方	0	未達成(A)		理	
L	・指標の目標値は達成できたか?達成できなかった 場合、その理由は何か?	•	達成(B)	妥当	由	
L			R5活動指標 %		指標の	
L		成率	R5成果指標////////////////////////////////////		根拠	
有	⑥ 目的への貢献(具体的な成果)	0	貢献できなかった(A)		理	
効性	・この事業は、意図した目的に貢献できたか。貢献 できなかった場合、その理由は何か?		貢献できた(B)	妥当	由	
	・具体的な成果の内容は?				成果	
L	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性	0	可能性がある(A)		理	
	・同じ目的を持つ類似の事業があり、統廃合・連携 はできるか?	•	可能性がない(B)	妥当	由	
	⑧ 費用対効果の向上	0	余地がある(A)			
効率	・随意契約から入札への変更、デジタル化・DX、外部委託、指定管理者制度、PFS/SIB*2等により、事業費の削減・費用対効果の向上は可能か?	•	余地がない(B)	妥当	理由	コスト削減の余地はないと考えている。
性	⑨ 業務効率化(業務時間・業務量の改善)	0	余地がある(A)			
	・作業の見直しや業務改善、デジタル化・DX、外部 委託、指定管理者制度等により、業務の効率化は可 能か?	•	余地がない(B)	妥当	理由	業務量削減の余地はないと考えている。
	⑩ 受益者負担の適正化	0	なっていない(A)		珊	
公平	・受益者負担は公平・公正になっているか?	•	なっている・受益者負担には該当 しない(B)	妥当	由	直接サービスの受益者がいる事業ではない。
性	⑪ 制度の周知	О	できていない(A)	57 1/	理	田伽の以西ぶわいし来るでいて
	・対象者が公平にサービスを受けられるよう、制度 を十分に周知できているか?	•	できている・周知の必要がない (B)	妥当	由	周知の必要がないと考えている。

5 改善 (Action)

(1)事業継続の評価及び見直しの区分

_	`	1 / 于不能说。		元臣しの巨力														
	事業の適合率			評価の判定	≧基準	>>>	所管課長評価		手法の適正	率	見直し	/判定	見直し区分(復数	複数選択可)			
	_	<u> </u>		80%以上	\Rightarrow	拡大or継続		見	効率性 妥当				コスト見直し		PFS・SIB導入			
割	火川平川		100	70%以上80%未満	⇒	継続	継続		划平区 女当	100	現行		作業工程等見直し		事業の統廃合・連携			
1	西		100	60%以上70%未満	⇒	継続or縮小	和全 形式		100 お	お	IJ	デジタル化・DX		負担や周知の見直し				
L			%	60%未満	⇒	縮小or廃止	分	五十任 安当	%			委託・指定管理		その他				
	(2	2) 担当課によ	る今後の	取組														
		事	¥推進上σ)課題			具体的	的な	改善案				備考					
	今後	予算の確保			特に	なし												
	・参の取組																	
1 2	沮																	

総評(Follow)へ

6	総評	(Follow	(
_	440-11	(1011011	/

0	総評 (FOIIOW)							
Г.	所管部長評	価	具体的な指示事項					
2 次 評 価	一次評価結果を踏まえた横 断的な視点での評価	継続	損傷箇所の早期発見、早期対応に努めること。					

			令和6年	度 事務	事業詞	平価シート									
1 基礎情	報														
事業名 (子事業名)		交通安	全施設事業費			所属部等	都市インフラ整備部	事業番号	251						
予算区分		経	常経費事業			所属課等	道路維持課								
予算科目	会計 01 款	40 項 10 目 3	30 親事業 400	子事業	05	所属係等	施設維持係								
2 計画((Plan)														
基本政策							事業区分	令和6年度予	算現額の内訳						
総合計画体系	基本施策	自動表示				○国の制度に	よる義務的事業	項目 (節)	金額(千円)						
	単位施策	自動表示				○県の制度に	よる義務的事業	需用費	510						
± # 0 #1188	○ 単年度のみ		返 (開始年度	年	度)	○市の制度に	よる義務的事業	工事請負費	95, 000						
事業の期間	○ 期間限定複	数年度(~	年度)		● 施設等維持	管理事業	備品購入費	6, 000						
						(補助金等交	付事業								
						○ 協議会等の	負担金								
	☆押ぶ 1 → 1	の主日からの落ち	旅に上りが日 さんよ	2000 km 当	:w=H	○ その他の事	業								
事業概要	鏡・防護柵など	の既設施設損傷等	等により発見された、 の早期復旧及び自治:	会要望や通学		村	艮拠法令等								
	至対東協議会は	ことにおける父理女	:全施設の新設・補修:	を17 り。											
								合計	101, 510						
目 対象的 (誰を・何)	を) 市道路施設		意図 (どうしたいか)	道路のれ、交	附属施設 通事故等	である交通安全の未然防止と共	施設を維持補修するこ。 に、安全かつ円滑な道區	とにより、施設本来の 路交通を確保する。	機能回復が図ら						
手段 (ど う やって)			路面標示等の新設及で	び補修を行う	0										
3 現状把	現状把握・ 握・実施 (Do)	実施(Do)へ))													
(1)事業費	・指標の推移				単位	令和4年度		令和6年度	令和7年度						
			国庫支出	· ·	千円	(決算実績)	(決算見込)	(予算現額)	(ア昇兄込)						
			県支出:		千円										
	± ,444 ±45	財源内訳	地方侵	Į	千円										
	事業費		その他	<u>b</u>	千円			<u> </u>							
₩			一般財	源	千円	98, 06	93, 706	101, 510	121, 510						
年間 トータル			事業費計 (A)		千円	98, 06	93, 706	101, 510	121, 510						
コスト			業務に必要	な人工	人	0.	5 0.5	0. 5	金額 (千円) 510 95,000 6,000 101,510 機能回復が図ら 令和7年度 (予算見込) 121,510						
	1 / 止 抽	正規職員	延べ業務時間	引 (年)	時間	1, 20	00 1, 200	1, 200	1, 200						
	人件費		平均人件費	(年)	千円	8, 44	8,646	8, 646	8, 646						

(A) + (B)千円 102, 285 98,029105, 833 125, 833 対象数の推移 方向 補修要望件数 3, 279 3, 411 95 95 目標 活動指標 (経常・その他) 処理率 方向 実績 97 93 成果指標 (総合計画) (2) この事務事業の背景・市民意見等 ・関係者(市民、地域、協働の担い手、民間事業者、議会等)からどのような意見や要望が寄せられているか? 自治会、市民等から街路灯やカーブミラー、防護柵、路面標示等の新設及び補修を要望されている。 ・直近3か年以内に実施した改善や見直し等の内容は? (監査等からの指摘事項を含む。) 特になし。 □ 広報あつぎ ☑ 市ホームページ □ 公民館だより □ ポスター・チラシ ☐ SNS 事業の対象者への周知方法は? (複数回答可) 3 □ その他 ・他市の状況は?(県内や類似団体との比較) 他市町村等についても同様な事業を行っている。

千円

4, 223

4, 323

4, 323

4, 323

人件費計(B)

4	評価 (Check)					
必要性	① 社会的な要請		必要性は薄れている(A)		理	
	・社会的背景や事業環境の変化を踏まえ、現在の 社会・経済問題として対応する必要があるか?	•	必要性がある(B)	妥当	由	
	② 対象者のニーズ	0	減少する見込み(A)		理	
	・対象者のニーズや利用者の需要・要望は増えているか?	•	横ばい・増加する見込み(B)	妥当	由	
	③ 行政関与の必要性	0	可能である(A)		理由	
	・この事業は、行政が実施する必要があるか?民間やNPOなどでも実施可能か?	•	可能ではない(B)	妥当		
	④ 廃止した場合の影響	0	影響がない(A)	-	内容	
	・この事業を廃止した場合、どのような影響があ るのか?	•	影響がある(B)	妥当		
有効性	⑤ 指標の達成度・EBPM※の考え方	0	未達成(A)		理	
	・指標の目標値は達成できたか?達成できなかっ た場合、その理由は何か?	•	達成(B)	妥当	由	
	・指標や目標値の設定根拠は? (エビデンスに基づく合理的な根拠)	達成率	R5活動指標 % B 成果指標////////////////////////////////////		指標の根拠	
	⑥ 目的への貢献(具体的な成果)	0	貢献できなかった(A)		理	
	・この事業は、意図した目的に貢献できたか。貢献できなかった場合、その理由は何か?	•	貢献できた(B)	妥当	由	
	・具体的な成果の内容は?				成果	
	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性	0	可能性がある(A)		理	
	・同じ目的を持つ類似の事業があり、統廃合・連 携はできるか?	•	可能性がない(B)	妥当	由	
効率性	⑧ 費用対効果の向上	0	余地がある(A)			
	・随意契約から入札への変更、デジタル化・DX、 外部委託、指定管理者制度、PFS/S1B×2等により、 事業費の削減・費用対効果の向上は可能か?	•	余地がない(B)	妥当	理由	コスト削減の余地はないと考えている。
	⑨ 業務効率化 (業務時間・業務量の改善)	0	余地がある(A)			
	・作業の見直しや業務改善、デジタル化・DX、外部委託、指定管理者制度等により、業務の効率化は可能か?	•	余地がない(B)	妥当	理由	業務量削減の余地はないと考えている。
公平性	⑩ 受益者負担の適正化	0	なっていない(A)	= W	理由	
	・受益者負担は公平・公正になっているか?	•	なっている・受益者負担には該当 しない (B)	妥当		直接サービスの受益者がいる事業ではない。
	① 制度の周知	0	できていない(A)	妥当	理	周知の必要がないと考えている。
	・対象者が公平にサービスを受けられるよう、制度を十分に周知できているか?	企画	できている・周知の必要がない (B) をその堪服りのエピソードに頼るのでけた。		か明る	向知の必要かないと考えている。
	衆1 EDFM (Evidence based Folicy making) 一段飛び	IIC Imil 3	とての物限りのエレン 下に頼るのではな	、 以來口印??	Z 1971	唯化した工で自生的依拠 (エピノンハ) に塞りてものとすること

※2 PFS (Pay For Success) …行政課題の解決に対応した成果指標を設定し、指標値の改善状況に連動して委託費等を支払う契約方式
SIB (Social Impact Bond) …事業に係る 資金調達を金融機関等の資金提供者から行い 、その 返済等を成果に連動した地方公共団体からの支払額等に応じて行うもの
改善 (Action) へ 4 評価 (Check) で (A) を選択した場合は、「(2)担当課による今後の取組」欄に反映してください。

改善(Action) (1) 事業継続の評価及び見直しの区分 所管課長評価 手法の適正率 見直し判定 事業の適合率 評価の判定基準 ▶▶▶ 見直し区分(複数選択可) 80%以上 拡大or継続 □ コスト見直し □ PFS・SIB導入 見直し区分 必要性 妥当 効率性 妥当 次評価 現行ど 70%以上80%未満 ⇒ 継続 □ 作業工程等見直し □ 事業の統廃合・連携 継続 100 100 60%以上70%未満 ⇒ おり □ デジタル化・DX □ 負担や周知の見直し 継続or縮小 有効性 妥当 公平性 妥当 60%未満 縮小or廃止 委託・指定管理 □ その他 (2)担当課による今後の取組 事業推進上の課題 具体的な改善案 備考 特になし 予算の確保 後の取組

を評(Follow)へ 総評(Follow) 6 所管部長評価 具体的な指示事項 一次評価結果を踏まえた横 断的な視点での評価 継続 要望内容を把握し、早期対応に努めること。